

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、鴨江圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和3年10月26日（火）9時30分から11時00分まで
参加者	委員12名、関係機関11名
場所	鴨江口腔医療センター 1階 講座室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 新規委員、関係機関 紹介</p> <p>3. 協議事項</p> <p>①昨年度までの振り返り 生活支援コーディネーターより、パワーポイント資料を用いて協議体会議開催の背景について説明し、昨年度までの会議について振り返りを行った。</p> <p>②様々な地域活動について 市社協 地域支援課、CSW、地区センター長から浜松市内外の協議体会議の様子や、地域活動について紹介を行った。</p> <p>③グループワーク A、B、Cグループ（各地区を混合したグループ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの協議体への思いについて ・自分の住んでいる町について 等 <p><Aグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事、集まりなど無理に参加しても継続しない。形にはめず、無理のない範囲での参加や来たい人に参加をしてもらう。 ・地域活動は参加者も運営者も楽しめるようにしたい。スタッフにとっても活動が居場所となることもある。 ・近所でも会う機会は意外と少ない。 ・活動への男性や若い人の参加が課題。 <p><Bグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で「つながり」がより必要だと感じた。 ・協議体会議では困り事の共有が出来ている。社会資源を把握し、つながる先を見つけていきたい。その為にマップは有効活用出来る。 <p><Cグループ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議体会議のことを地域住民に周知をしていきたい。地域活動の運営者や活動者にも参加していただき、誰もが発言しやすい場にしたい。 ・地域活動に参加していない、1人で居たくないが1人になっている地域住民への支援が今後の地域には必要になる。 ・サロンは女性が中心。男性も参加できる場所が必要である。 <p>4. 次回以降の会議日程について 2022年2月頃を予定。</p>

	5. 連絡事項 特になし
	6. 閉会 鴨江圏域生活支援体制づくり協議体 会長
今後の見通し等	今後、居場所を委員と共有する為にマップの作成をすすめていきたい。また、協議体会議を発言しやすい場となるよう委員との交流を図っていきたい。